

プロジェクトで発生するリスクの MBTI を用いた事前予測

プロジェクトマネジメントコース 矢吹研究室 1442085 中村 真悟

1. 背景

MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) という自己理解メソッドがある。MBTI とはカール・グスタフ・ユングの心理学的類型論の指標 (内向: I-外向: E, 感覚: S-直感: N, 思考: T-感情: F) に判断的態度: J-知覚的態度: P の指標を加えて, 4 指標 16 タイプとして性格を分類する。主に相談場面や教育現場, 企業の組織編制, 人事政策などに利用されている [1]。

この MBTI を使い, プロジェクトの開始時点からメンバの性格を理解し, メンバの相互作用が原因となつて起こる事象を予測したい。本研究では MBTI を用いて, グループワークでの事象とメンバの性格との相関関係について研究する。

2. 目的

本研究の目的は, グループメンバの MBTI の 16 タイプの相互作用がプロジェクトにどのような影響をもたらしているのかを調べ, MBTI のタイプからメンバ間で発生しやすいリスクを予測することである。

3. 手法

以下の手法で研究する。

1. グループワークで課題に取り組んでもらう
2. グループワーク後に, 性格検査 [2] と失敗マンダラ [3] に基づいた事象についてのアンケートを行う
3. メンバの性格とアンケートの結果から仮説を立てる
4. 被験者に MBTI の性格検査を行う
5. 仮説に基づき数人のグループを作り, グループワークを行ってもらう
6. 課題提出時にアンケートを行う
7. タイプと事象についての仮説を実証する

4. 想定される成果物

想定される成果物はプロジェクト開始時から使用できる MBTI を用いたメンバ間のリスク予測リストである。

5. 進捗状況

千葉工業大学で開講されている講義「プログラミング言語とプログラミング」と「データマイニング入門」, 「PM 実験・演習」のグループワークで, データを収集する。

現在, 「データマイニング入門」の指導教員である矢吹太朗准教授に講義で行うグループワークの提案し, 手法と課題について話し合っている。グループ分けは「プログラミング言語とプログラミング」で収集したデータから仮説を立て思索している。

6. 今後の計画

「データマイニング入門」と「PM 実験」のグループワークで, MBTI の性格検査とアンケートを実施する。

そのデータから課題研究などのデータから立てた仮説を実証する。

参考文献

- [1] 中澤清, 田淵純一郎. 24 MBTI に関する研究 (1) : MBTI の概略について. 日本性格心理学会大会発表論文集, No. 6, p. 52, Dec 1997.
- [2] Otto Kroeger and Janet M. Thuesen. 性格学入門 運命のカギをにぎる 16 のタイプ別性格判断. 飛鳥新社, Aug 1994.
- [3] 亀倉正彦. 失敗マンダラを活用したアクティブラーニング授業の失敗事例分析とその知識化-学生の「やる気」を引き出す観点から-. *NUCB journal of economics and information science*, Vol. 59, No. 2, pp. 123-143, Mar 2015.
- [4] 杉浦友佳. 1-5 レスキュー・マネージメントのためのストラテジック・チーム・ビルディング論. プロジェクトマネジメント学会研究発表大会予稿集, Vol. 2001, pp. 20-25, 2001.